

ワイヤレスルータ セットアップマニュアル



NETGEAR®

NETGEAR, Inc.
350 East Plumeria Drive
San Jose, CA 95134

2008年2月
208-10165-01
v2.0

商標

NETGEAR および NETGEAR ロゴは登録商標です。RangeMax および Smart Wizard は NETGEAR 社の商標です。Microsoft、Windows、Windows NT は Microsoft 社の登録商標です。その他のブランドや商品名は、各所有者に帰属する商標または登録商標です。

条件の明示

製品の内部設計、操作機能、安定性などを改善するため、NETGEAR は予告なく本書に記載された製品に変更を加える権利を有するものとします。

NETGEAR は本製品やここに紹介する回路配置などの使用または適用により派生する事柄について、一切の責任を負いかねます。

© 2008 by NETGEAR, Inc. All rights reserved.

目次

NETGEAR ワイヤレスルータの概要	1
パッケージ内容の確認	1
ハードウェア機能	3
ワイヤレスルータの設置	5
ワイヤレスルータのインストール	5
ルータファームウェアの更新	7
Smart Wizard を使ってルータをインストールする	9
Smart Wizard を使用する	9
新しいファームウェアのインストールと確認後にルータにアクセスする	10
ルータを手動でインストールする	15
ワイヤレスルータの接続	16
接続を確認する	19
インターネット接続のためにルータをセットアップする	19
新しいファームウェアを確認する	22
ワイヤレス設定とセキュリティオプションの設定	25
ワイヤレスコンピュータを設定する	28
トラブルシューティング	31
基本設定のチェックリスト	31
ルータの基本機能の確認	32
ログイン問題のトラブルシューティング	34
インターネットサービス接続のチェック	35
インターネット IP アドレスの取得	36
Ping ユーティリティを使ったトラブルシューティング	38
初期設定	41
初期設定	41
既定のユーザー名とパスワードのリセット	42
関連ドキュメント	43
登録と認証	45

NETGEAR ワイヤレスルータの概要

NETGEAR® 高速ワイヤレスルータ RangeMax™ ワイヤレス -N ギガビットルータ WNR3500 をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

ルータをインストールする前に、まずパッケージ内容をご確認ください(1 ページの“[パッケージ内容の確認](#)”を参照)。ルータの前面および背面の構造をよくご確認ください。特にステータスランプやルータに貼付されたラベルの情報は重要です(1 ページの“[パッケージ内容の確認](#)”を参照)。また、5 ページの“[ワイヤレスルータの設置](#)”をよくお読みになり、ルータのインストールに適した場所をご確認ください。

パッケージ内容の確認

本製品のパッケージには次のアイテムが含まれます。

- ワイヤレスルータ本体
- ワイヤレスルータ専用スタンド
- AC 電源アダプタ (地域により異なります)
- 黄色いイーサネットケーブル
- リソース CD (以下が含まれます):
 - Smart Wizard インストールアシスタント (*Autorun.exe*)
 - 本マニュアルの電子版 (PDF ファイル)
 - オンラインリファレンスマニュアルへのリンク
- 保証書およびサポート情報カード

万一、不足品や破損品がある場合は、NETGEAR 販売店にお問い合わせください。お買い上げ時のダンボールやパッケージは製品修理などの際に必要となりますので、保管してください。

ルータのインストール準備

1. ルータ本体の側面に貼られている保護フィルムを慎重にはがしてください(図 1を参照)。

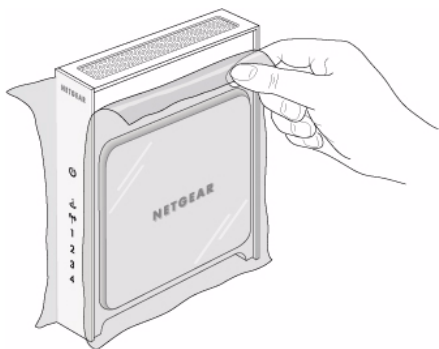


図 1

2. ルータ付属の専用スタンドのタブを、ルータ底面のスロット部分に差し込み、ワイヤレスルータをセットアップします(図 2を参照)。次にルータ前面に貼られた保護フィルムをはがします。



図 2

3. ルータを安定した場所に置きます(AC電源の近くで、有線コンピュータのイーサネットケーブルに接続しやすい場所を推奨)。



適切な通気やルータの安定性を確保するため、スタンドを取り付け、ルータを正しい位置で設置してください。

ハードウェア機能

ルータをインストールし、接続する前に、まずルータパネルの前面と背面、特に前面のステータスランプについてご確認ください。

前面

前面のランプはルータの動作状況を示します。ステータスランプの点滅の仕方は [図 3](#) の説明の通りです。(ステータスランプに関する詳細は、[32 ページ](#)の“ルータの基本機能の確認”を参照してください。)

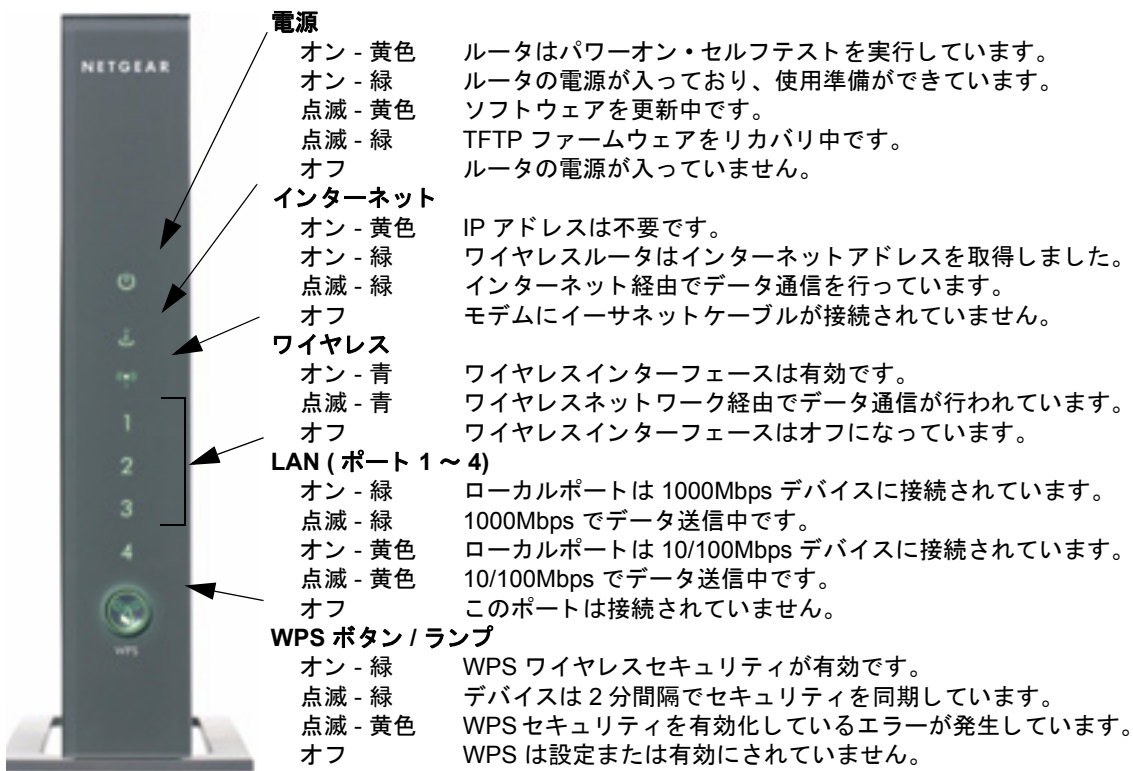


図 3

リアパネル

図 4 はワイヤレスルータのリアパネルの接続ポートを説明しています。

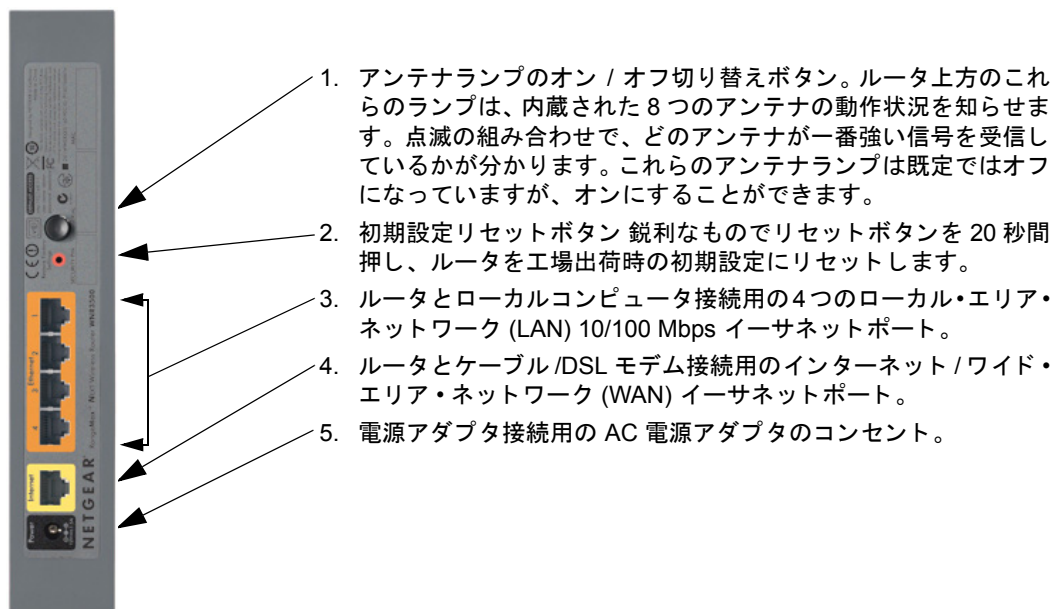


図 4

ルータラベル

ワイヤレスルータ背面のラベルにはルータの MAC アドレス、シリアルナンバー、セキュリティ PIN、工場出荷時のログイン情報が記載されています。

ルータのポートは色で区別されており、インターネットポートと、その他 4 つのコンピュータ接続用ポートと容易に判断できるようになっています。

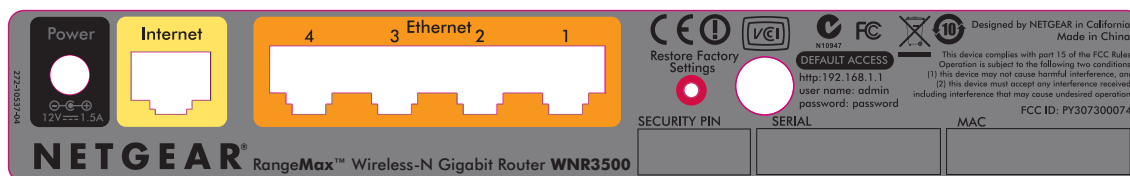


図 5

ワイヤスルータの設置

ワイヤスルータを使うと、ワイヤスネットワークの操作範囲内であれば、どこからでもネットワークにアクセスすることができます。しかし、ワイヤス接続デバイスの操作距離や範囲はルータの物理的配置によって大きく異なります。例えば、壁の厚さや数によって、ワイヤス信号が伝わる範囲が限られることがあります。最適な操作環境を得るため、ルータは次のように設置してください。

- コンピュータやその他のデバイスを操作する場所の中央で、ワイヤスデバイスの直線上に来る場所。
- AC電源のコンセントと有線コンピュータのイーサネットケーブルに届きやすい場所。
- 棚の上など、少し高くなった場所で、ワイヤスルータと他のデバイスとの間にある壁や天井が最小限になる場所。
- 壁掛け扇風機、家庭用セキュリティシステム、電子レンジ、コードレス電話のホルダーなど、妨害を招く可能性のある電気機器から離れた場所。
- 大きな金属製のドアやアルミの留め具など、大きな金属のない場所。ガラス、間仕切り、水槽、鏡、レンガ、コンクリートなど、材質の異なる大きな塊はワイヤス信号を遮ることがあります。



これらの規定に沿ってお取り扱いにならない場合、インターネットへのワイヤス接続機能が劣化したり、接続不能となる場合があります。

ワイヤスルータのインストール

ルータの設定やインターネットへの接続をスムーズに行うために、リソースCDにはSmart Wizard™が含まれています。Smart Wizardはルータ、モデム、PCの接続に必要な各種手順、ワイヤス設定、ネットワークにおけるワイヤスセキュリティの有効化の方法などを順を追ってガイドしてくれます。Smart Wizardを完了すれば、インターネットを使い始めることができます。



MacintoshやLinuxシステムをお使いの場合は、手動のインストールを行う必要があります(15ページの“ルータを手動でインストールする”を参照)。

次のいずれかの方法でワイヤスルータをセットアップしてください。

- **Smart Wizard によるセットアップ**: Smart Wizard セットアップはリソース CD から行います。Smart Wizard をご利用になるには、9 ページの [“Smart Wizard を使ってルータをインストールする”](#) を参照してください。
 - このオプションが最も簡単です。ウィザードはセットアップ過程を順を追って説明してくれます。また、それぞれのステップを自動化し、すべてが問題なく完了したかどうか確認してくれます。
 - Smart Wizard を実行するには、Microsoft Windows の PC が必要です。



PC で Smart Wizard を実行してホームルータをセットアップする前に、会社のネットワーク管理者にご確認ください。会社のネットワーク設定や VPN (Virtual Private Network) クライアントソフトウェアはホームルータの初期設定と競合する可能性があります。競合するかどうか分からない場合は、別のコンピュータをお使いください。

- **手動セットアップ**: Smart Wizard を使用できない場合、または使いたくない場合は、15 ページの [“ルータを手動でインストールする”](#) を参照してください。例えば、Macintosh コンピュータに接続しており、Linux OS をお使いの場合、技術的に可能な場合などは、このオプションを選ぶことができます。このオプションを選び、手動でルータをインストールする場合、ルータは以下の順序でインストールし、セットアップすることをお勧めします。
 1. ワイヤレスルータをインストールし、ネットワークに接続します (16 ページの [“ワイヤレスルータの接続”](#) を参照)。
 2. インターネットアクセス用にワイヤレスルータをセットアップします (19 ページの [“インターネット接続のためにルータをセットアップする”](#) を参照)。
 3. ルータの新しいファームウェアをチェックし、最新版をインストールします (22 ページの [“新しいファームウェアを確認する”](#) を参照)。
 4. ワイヤレスネットワークを設定し、ネットワークを保護するためのワイヤレスセキュリティ設定を選択します (25 ページの [“ワイヤレス設定とセキュリティオプションの設定”](#) を参照)。

ルータファームウェアの更新

NETGEAR は常にルータの操作性および機能性を改善しています。NETGEAR は皆様にご利用いただいているルータを常に最善の状態にしておくために、製品の更新に関する様々な方法を提供しています。

- **Smart Wizard** インストールアシスタントは、セットアップの一環として更新情報のチェックとインストールを行います。
- ルータには更新機能が搭載されており、更新情報があるかどうかをチェックし、あればインストールします。この機能をご利用になるには、ルータにログインしておく必要があります。
- NETGEAR は、NETGEAR の最新製品や最新情報に関するお知らせを自動的にチェックする Windows ソフトウェアユーティリティを提供しています。

これらの機能は [10 ページの“新しいファームウェアのインストールと確認後にルータにアクセスする”](#) で説明しています。

Smart Wizard を使って ルータをインストールする

Smart Wizard を使用するには、Windows Vista、Windows 2000、または Windows XP with Service Pack 2 の PC が必要です。Smart Wizard によるセットアップには約 15 分かかります。Smart Wizard を使ってルータを設定する前に、以下をご確認ください。

- インターネットサービスプロバイダ (ISP) を通してインターネット接続ができる。
- プロバイダから提供された設定情報が手元にある。
- ケーブルモデム経由でインターネットに接続されている場合、本来インターネットアカウントをセットアップする際に使用したコンピュータを使用している。


Smart Wizard を使用する

NETGEAR Smart Wizard は、ルータ、モデム、及び PC の接続をガイドします。次にネットワークのワイヤレス設定を行い、ワイヤレスセキュリティを有効にします。Smart Wizard は様々な自動ステップを通してセットアップをガイドします。セットアップ過程におけるすべてのステップが確実に実行されているかどうか、Smart Wizard がチェックします。

Smart Wizard を使ってルータをインストールする

1. リソース CD を Windows PC にセットしてください。CD は自動的に起動し、PC で使われている言語を検出します。必要に応じて別の言語を選択してください。



CD が自動的に起動しない場合は、CD を参照し、自動実行ファイル  をダブルクリックしてください。

2. 初期画面が表示されたら、**[セットアップ]** をクリックして Smart Wizard を開始します。画面の指示に従い、インストールを完了します。

Smart Wizard はルータのインストール、ルータからインターネットへの接続、ワイヤレスネットワークの設定、ネットワークセキュリティの設定などを順番にガイドしてくれます。インストール中にセキュリティオプションを選択しない場合は、後からルータのユーザーインターフェースでセキュリティオプションを選択することもできます (“ **新しいファームウェアのインストールと確認後にルータにアクセスする** ” を参照)。



高速ワイヤレスルータの性能を最大限に活用するため、ネットワーク上の各コンピュータのワイヤレスアダプタカードがルータと同じ技術に対応していることをご確認ください (詳しくはオンラインユーザーマニュアルを参照)。

インターネットに接続できました。

ネットワーク内でワイヤレスコンピュータを設定し、ルータやインターネットに接続するには、**28 ページ**の “ **ワイヤレスコンピュータを設定する** ” を参照してください。

新しいファームウェアのインストールと確認後にルータにアクセスする

Smart Wizard は初めてルータをインストールしたとき、またはルータが工場出荷時の初期設定にあるときにのみ表示されます (ルータを工場出荷時の状態にリセットした場合など)。ルータをインストールし、設定した後に Smart Wizard を使用したい場合は、ブラウザウィンドウを開き、ルータにログインする必要があります。また、新しいルータファームウェアの確認をするよう促されます。

インストール後にルータにログインする

1. ブラウザウィンドウを開き、ブラウザのアドレスバーに **http://www.routerlogin.net** と入力します。 **Enter** を押します。



以下のいずれかのアドレスを入力し、ワイヤレスルータに接続します。
http://www.routerlogin.net または **http://www.routerlogin.com.**

下図のようなログインウィンドウが表示されます。



図 6

- 画面で指示されたら、既定のユーザー名とパスワードを入力します（ルータのユーザー名には **admin**、パスワードには **password** と入力）。いずれも小文字で入力してください。ユーザー名とパスワードを自分で変更した場合は、変更後のユーザー名とパスワードを入力します。



ルータのユーザー名とパスワードは1台のルータに対して唯一のものであり、またインターネット接続にログインの際に使用するユーザー名やパスワードとは異なる必要があります。

ファームウェア更新アシスタントの画面が表示されます。

- [はい]** をクリックして新しいファームウェアをチェックします (推奨)。ルータは自動的に NETGEAR のデータベースで新しいファームウェアのイメージファイルをチェックします。新しいファームウェアが見つからない場合は、**[新しいファームウェアバージョンはありません]** というメッセージが表示されます。(**[いいえ]** を選択した場合でも、後から新しいファームウェアをチェックすることができます。13 ページの “**新しいルータファームウェアを手動でチェックするには、次の手順で行います。**” を参照してください。)
- 新しいファームウェアが見つかった場合、このファームウェアをダウンロードするための NETGEAR ウェブサイトへのリンクが表示されます。**[対象をファイルに保存]** を右クリックし、ファイルをハードディスクに保存します。

通常、ファームウェアイメージは .img (または .chk) 形式のファイルであり、ルータをアップグレードする際はファイルを解凍する必要はありません。ただし、ファイルが .zip ファイルの場合はイメージが圧縮された状態ですので、使用前に解凍する必要があります。Windows では WinZip ユーティリティを使ってファイルを解凍できます。

ルータをアップグレードする

1. ルータ更新画面が自動的に表示されない場合は、メインメニューの管理で [**ファームウェアの更新**] を選択します。ファームウェア更新画面が表示されます。
2. **参照** をクリックし、PC にダウンロードした解凍済みのファームウェアイメージを確認します (ファイルの拡張子は .img または .chk です)。
3. ファイルを選択したら、[**アップロード**] をクリックし、ソフトウェアをルータに送信します。アップロードには数分かかります。ソフトウェアのアップロードが完了すると、ルータは再起動します。



オンラインになったり、ルータの電源を切ったり、コンピュータの電源を落としたりしないでください。また、ルータが再度点滅を始めるまで、何も操作をしないでください。準備完了のランプの点滅が消えたら、数分待ってからルータをお使いください。

4. ルータが再起動した後、メニューの管理画面で [**ルータステータス**] を選択します。ルータに新しいソフトウェアがインストールされているかどうか、ファームウェアバージョンを確認します。

この方法でアップグレードできない場合は、他のルータアップグレード方法について、オンラインの [リファレンスマニュアル](#) を参照してください。リファレンスマニュアルは、ルータメインメニューの [ドキュメンテーションリンク](#) からご覧いただけます (または [リソース CD](#) のリンク) 。

インストール中に [**いいえ**] のラジオボタンを選択し、後から新しいファームウェアをチェックしたい場合は、以下の手順で行います。NETGEAR のウェブサイトでは更新情報を確認する前に、現在のルータで実行中のファームウェアバージョンを確認することをお勧めします。次に NETGEAR ウェブサイトにアクセスし、このルータのモデル番号を選択します。ファームウェアの最新版がご利用になれる場合は、ファームウェアをコンピュータにダウンロードし、ルータをアップグレードします。

新しいルータファームウェアを手動でチェックするには、次の手順で行います。

1. ブラウザウィンドウを開き、ブラウザのアドレスバーに <http://www.routerlogin.net> と入力します。Enter を押します。
2. 画面に指示が表示されたら、初期設定のパスワード (ルータパスワードは **password**) を小文字で入力します。パスワードを変更済みの場合は、変更後の新しいパスワードを入力してください。
3. ルータのメインメニューの管理画面で [ファームウェアのアップデート] を選択します。ルータステータス画面が表示されたら、ご利用中のルータのファームウェアバージョン番号を確認してください。
4. ウェブサイト <http://www.netgear.jp/supportInfo/> にアクセスし、メニューバーから [ダウンロード] を選択します。
5. [製品選択] のプルダウンリストからルータのモデル番号を選択します。ルータの製品サポートページが表示されます。
6. [ダウンロード] ページで、[ルータステータス] 画面で表示されたファームウェアバージョンに対し、現在最新のバージョンをチェックします。
7. NETGEAR ウェブサイトのバージョンの方が新しい場合は、バージョン番号をクリックします。[対象をファイルに保存] を右クリックし、ファイルをハードディスクに保存します。
8. “ルータをアップグレードする” の手順に従い、アップグレードを完了します。

ルータを手動でインストールする

ルータを手動でインストールし、接続する前に、下記のリストをご覧になり、必要な情報がすべて手元にあるかどうか確認してください。



経験のあるユーザーの方、または Macintosh や Linux システムユーザーの方は、このトピックの手順に従ってください。

- インターネットサービスプロバイダ (ISP) を通してインターネット接続ができる。
- プロバイダが提供する設定情報がそろっている。インターネットアカウントの設定方法によっては、ワイヤレスルータをセットアップし、インターネットに接続するために以下の情報が必要となる場合があります。
 - ホスト名とドメイン名
 - インターネットログオン名とパスワード (メールアドレスやパスワードの場合があります)
 - ドメインネームサーバ (DNS) アドレス
 - 固定または静的 IP アドレスプロバイダは、インターネットに接続するために必要なすべての状況を提供します。不明な情報がある場合は、プロバイダにお問い合わせください。
- ケーブルモデムサービスをご利用の場合は、最初にインターネットアカウントを設定したコンピュータを使用してください。

以下をご確認ください。

- ルータのパッケージ内容を確認し、すべてがそろっているかどうか確認してください (1 ページの “[パッケージ内容の確認](#)” を参照)。
- 5 ページの “[ワイヤレスルータの設置](#)” に記載されたガイドラインを確認した後、ワイヤレスルータの設置に最適な場所を選んでください。

ワイヤレスルータの接続

ワイヤレスルータをインストールする前に、DHCP と "DNS サーバーアドレスを自動的に取得する" という設定を使い、インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティが動的に IP アドレスを取得する" という設定になっていることを確認してください。これらの設定は、内部ネットワーク接続の TCP/IP プロパティを表示して確認できます。コンピュータの [コントロールパネル] から確認してください。不明な点がある場合は、お使いのコンピュータの取扱説明書、または [43 ページの“関連ドキュメント”](#) の TCP/IP アドレス指定に関するリンクをご覧ください。



ルータを交換する場合、新しいルータをインストールする前に、必ず既存のものをネットワークから完全に取り外してください。

ワイヤレスルータ、コンピュータ、モデムを接続する

1. コンピュータの電源を切ります。
2. ケーブルまたは DSL ブロードバンドモデムの電源を切り、取り外します。
3. コンピュータとモデムをつないでいるイーサネットケーブル (A) を確認します。
4. モデム側のケーブルのみ (B) を取り外します。後からこれをルータに接続します。

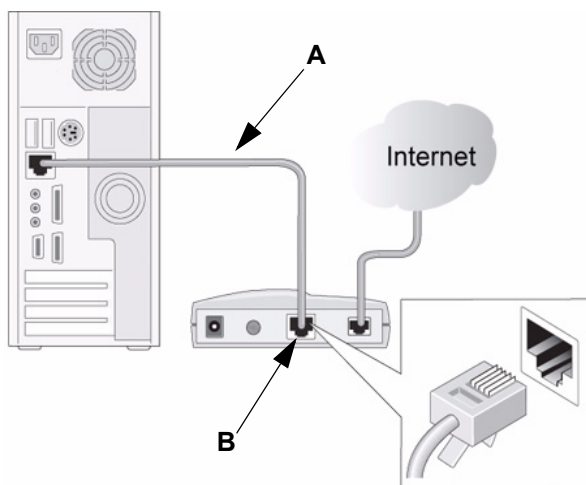


図 7

5. NETGEAR 製品付属のイーサネットケーブルを確認します。イーサネットケーブルの片方をモデムに接続し、もう片方をワイヤレスルータ (C) のインターネットポートに接続します。(イーサネットケーブルとインターネットポートのラベルは色で区別されています。)

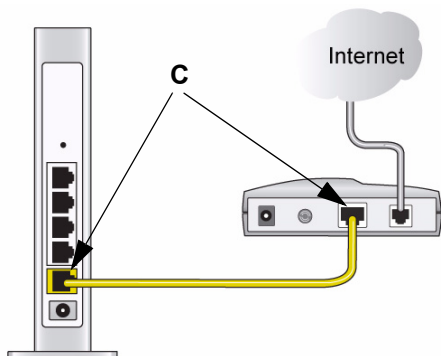


図 8

6. コンピュータに接続されたイーサネットケーブル (D) を確認します (ステップ 3 を参照)。このケーブルを、LAN ポート 1 (E) などのルータ LAN ポートに接続します。図 9 を参照してください。

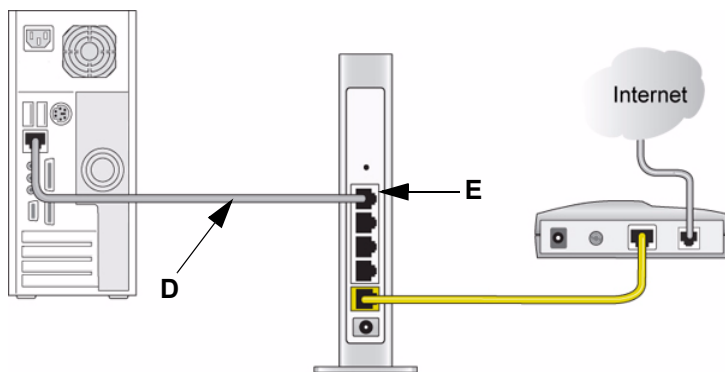


図 9

7. その他の PC をルータに追加する場合は、PC のイーサネットケーブル残りの 3 つの LAN ポートのいずれかにケーブルで接続します。

ネットワークケーブルが図 9 のように接続されれば、ネットワーク準備は整います。下記の通り、正しい順序でネットワークを起動してください。



ネットワークを間違った順序で起動すると、インターネットへアクセスできない場合があります。

ネットワークを起動します。

1. ケーブルモデムまたは DSL モデムの電源を差し込み、電源を入れます。2 分間待ちます。
2. ワイヤレスルータの電源コードをコンセントに差し込みます。1 分間待ちます。
3. コンピュータの電源を入れます。ルータがコンピュータとインターネットプロバイダとの間に接続を確立するまで数分かかります。



DSL ユーザーの場合、ソフトウェアでインターネットにログインした後は、このソフトウェアを起動しないでください。Internet Explorer の [ツール] メニューから [インターネット オプション] - [接続] タブへと進み、[ダイアルしない] を選択する必要がある場合があります。

接続を確認する

ワイヤレスルータのステータスランプを見て、ルータが正しく接続されているかどうか確認します (図 10 のとおりです)。







- **電源**: 電源ランプ  は緑色に点灯します。ランプが消えない場合は、[32 ページの “ルータの基本機能の確認”](#) をご覧ください。
- **ワイヤレス**: ワイヤレスランプ  はルータの電源を入れると点灯します。
- **インターネット**: インターネットランプ  は点灯した状態となります。点灯していない場合は、イーサネットケーブルがしっかりとワイヤレスルータのインターネットポートとモデムに接続されており、且つモデムの電源が入っていることを確認してください。
- **LAN**: LAN ランプ  はネットワークに接続された各コンピュータに対応して点灯します。緑色は、コンピュータが 100Mbps で通信していることを意味し、黄色はコンピュータが 10/100 Mbps で通信していることを意味します。接続された各イーサネットケーブルに対して LAN ランプが点灯していない場合は、コンピュータからルータへのイーサネットケーブルがしっかりと接続されており、コンピュータの電源が入っていることを確認してください。
- **WPS**: WPS ボタン / ランプは WPS セキュリティが有効になると点灯します。

図 10

インターネット接続のためにルータをセットアップする

ワイヤレスルータを手動で設定する場合、ワイヤレスルータにログインして初期設定を行い、後からワイヤレスルータの設定を変更する必要があります。



リセットボタンを押すと、出荷時の初期設定に戻すことができます。詳しくは [42 ページの “既定のユーザー名とパスワードのリセット”](#) を参照してください。

ログイン名とパスワードを使ってルータにアクセスするには、次の手順で行います。

1. ブラウザのアドレス欄に **http://www.routerlogin.net** と入力し、**Enter** をクリックします。



以下のいずれかのアドレスを入力し、ワイヤレスルータに接続してください。

http://www.routerlogin.net または **http://www.routerlogin.com**.

図 11 のようなログインウィンドウが表示されます。



図 11

2. 画面で指示されたら、ユーザー名に **admin**、パスワード欄に **password** と入力します。いずれも小文字で入力してください。(セキュリティを考慮し、ルータには独自のユーザー名とパスワードがあります。)



ルータのユーザー名とパスワードはインターネット接続にログインする際に使用するユーザー名やパスワードとは異なります。

メインメニューが表示されます。

3. 左側のナビゲーションペインのメニューオプションから [セットアップウィザード] をクリックします。 [セットアップウィザード] 画面が表示されます。

セットアップウィザード

スマートセットアップウィザードはご利用のインターネット接続タイプを検出します。

スマートセットアップウィザードでご利用の接続タイプを検出しますか？

はい

いいえ。自分でルータの設定をします。

次へ

図 12

4. 以下のいずれかのオプションを選択します。
 - セットアップウィザードが直接インターネット接続を検出する場合は、 [はい] を選択します。指示が表示されたら、 [次へ] をクリックします。このウィザードは、ワイヤレスルータからインターネットへアクセスするための設定方法をガイドします。



ワイヤレスルータに接続できない場合は、 [コントロールパネル] から [ネットワーク接続] のインターネットプロトコル (TCP/IP) プロパティを確認します。IP と DNS サーバアドレスの両方を自動的に取得するよう設定する必要があります。不明点がある場合は、お使いのコンピュータの取扱説明書、または [43 ページの“関連ドキュメント”](#) のリンクを参照してください。

- ご自身で接続を設定する場合は、 [いいえ] を選択します。 [次へ] をクリックすると、 [基本設定] 画面が表示されます。プロバイダへの接続に必要な情報を各欄に入力してください。不明点がある場合は、ルータインターフェースの [基本設定のヘルプ] 画面か、またはこのワイヤレスルータのユーザーマニュアルを参照してください。
5. [適用] をクリックして設定を保存し、接続を確立します。
これでインターネットに接続できました。

正しく接続できない場合：

- 設定を再確認し、正しいオプションが選択されているか、入力した情報がすべて正しいかどうかを確認してください。
- プロバイダに問い合わせ、情報が正しいかどうか確認してください。
- また、31 ページの“トラブルシューティング”を参照してください。

それでも問題が解決されない場合は、お使いの NETGEAR 製品を登録し、NETGEAR テクニカルサポートにお問い合わせください。

新しいファームウェアを確認する

ルータをインストールした後、ブラウザウィンドウを開き、ルータにログインしてワイヤレス設定を完成させる必要があります。また、ルータの新しいファームウェアの確認をするよう促されます。

インストール後にルータにログインする

1. ブラウザウィンドウを開き、ブラウザのアドレスバーに **http://www.routerlogin.net** と入力します。Enter を押します。



以下のいずれかのアドレスを入力し、ワイヤレスルータに接続します。
http://www.routerlogin.net または **http://www.routerlogin.com**.

下図のようなログインウィンドウが表示されます。



図 13

2. 画面で指示されたら、既定のユーザー名とパスワードを入力します（ルータのユーザー名には **admin**、パスワードには **password** と入力）。いずれも小文字で入力してください。ユーザー名とパスワードを自分で変更した場合は、変更後のユーザー名とパスワードを入力します。



ルータのユーザー名とパスワードは1台のルータに対して唯一のものであり、またインターネット接続にログインする際に使用するユーザー名やパスワードとは異なる必要があります。

3. [ファームウェアアップグレードアシスタント] の画面が表示されます。
4. [はい] をクリックして新しいファームウェアをチェックします (推奨)。ルータは自動的に NETGEAR のデータベースで新しいファームウェアのイメージファイルをチェックします。新しいファームウェアが見つからない場合は、「新しいファームウェアバージョンはありません」というメッセージが表示されます。([いいえ] を選択した場合でも、後から新しいファームウェアをチェックすることができます。24 ページの「新しいルータファームウェアを手動でチェックする」を参照してください。)
5. 新しいファームウェアが見つかった場合、このファームウェアをダウンロードするための NETGEAR ウェブサイトへのリンクが表示されます。[対象をファイルに保存] を右クリックし、ファイルをハードディスクに保存します。

通常、ファームウェアイメージは .img または .chk 形式のファイルであり、ルータをアップグレードする際はファイルを解凍する必要はありません。ただし、ファイルが .zip ファイルの場合はイメージが圧縮された状態ですので、使用前に解凍する必要があります。Windows では WinZip ユーティリティを使ってファイルを解凍できます。

ルータをアップグレードする

1. [ルータのアップグレード] 画面が自動的に表示されない場合は、メインメニューの [メンテナンス] で [ルータのアップグレード] を選択します。[ルータのアップグレード] 画面が表示されます。
2. [参照] をクリックし、PC にダウンロードした解凍した済みのファームウェアイメージを確認します (ファイルの拡張子は .img です)。

3. ファイルを選択したら、[アップロード]をクリックし、ソフトウェアをルータに送信します。アップロードには数分かかります。ソフトウェアのアップロードが完了すると、ルータは再起動します。



オンラインになったり、ルータの電源を切ったり、コンピュータの電源を落としたりしないでください。また、ルータが再度点滅を始めるまで、何も操作をしないでください。準備完了のランプの点滅が消えたら、数分待ってからルータをお使いください。

4. ルータが再起動した後、[メンテナンス]メニューで[ルータステータス]を選択します。ルータに新しいソフトウェアがインストールされているかどうか、ファームウェアバージョンを確認します。

この方法で正常にアップグレードできなかった場合は、ルータのメインメニューにあるドキュメンテーションリンクか、またはリソースCDのリンクからオンラインリファレンスマニュアルを参照し、ルータ更新の別の方法をお試しください。

インストール中に[いいえ]のラジオボタンを選択し、後から新しいファームウェアをチェックしたい場合は、以下の手順で行います。NETGEARのウェブサイトでは更新情報を確認する前に、現在のルータで実行中のファームウェアバージョンを確認することをお勧めします。次にNETGEARウェブサイトへアクセスし、このルータのモデル番号を選択します。ファームウェアの最新版がご利用になれる場合は、ファームウェアをコンピュータにアップロードし、ルータを更新します。

新しいルータファームウェアを手動でチェックする

1. ブラウザウィンドウを開き、ブラウザのアドレスバーに <http://www.routerlogin.net> と入力します。Enter を押します。
2. 画面で指示されたら、既定のユーザー名とパスワードを入力します（ルータのユーザー名には **admin**、パスワードには **password** と入力）。いずれも小文字で入力してください。ユーザー名とパスワードを自分で変更した場合は、変更後のユーザー名とパスワードを入力します。
3. ルータの [メンテナンス]メニューで [ルータステータス] を選択します。[ルータステータス]画面が表示されたら、ご利用中のルータのファームウェアバージョン番号を確認してください。
4. ウェブサイト <http://www.netgear.jp/supportInfo/> にアクセスし、メニューバーから [ダウンロード] を選択します。
5. [製品選択] のプルダウンリストからルータのモデル番号を選択します。ルータの製品サポートページが表示されます。

6. [ダウンロード] ページで、[ルータステータス] 画面で表示されたファームウェアバージョンに対し、現在最新のバージョンをチェックします。
7. NETGEAR ウェブサイトのバージョンの方が新しい場合は、バージョン番号をクリックします。[対象をファイルに保存] を右クリックし、ファイルをハードディスクに保存します。
8. “ルータをアップグレードする” の手順に従い、更新手順を完了します。

ワイヤレス設定とセキュリティオプションの設定



上級ユーザーのみ！ Microsoft Vista OS をお使いの場合、Windows Connect Now を使用して WPS (Wi-Fi Protected Setup) を導入し、ルータの SSID と WPA セキュリティパスワードを設定することができます。セキュリティ PIN 番号を入力するよう指示されるので、ルータ背面のラベルをご覧ください(4 ページの“ルータラベル”を参照)。その他のルータを設定する場合は、次のステップでルータインターフェースにアクセスするか、またはリソース CD のリファレンスマニュアルにあるリンクを参照してください。

この機能は、ルータが初期設定の状態にあるか、または “登録機関にこのルータを設定させる” のラジオボタンにチェックが入っている場合のみ有効となります。

現在のネットワークに適したセキュリティ設定が選べるよう、NETGEAR では様々なセキュリティ設定方法を提供しています。

- Smart Wizard は初期の設定段階において、セキュリティのセットアップ方法を誘導します(5 ページの“ワイヤレスルータのインストール”を参照。)
- WPS (Wi-Fi Protected Setup) に対応した機器(ノートパソコン、アダプタなど)をお持ちの場合は、WPS セキュリティを有効にすることができます(4 ページの“リアパネル”と 26 ページの“Wi-Fi Protected Setup (WPS) を使う”を参照)。
- ワイヤレス設定画面では、ワイヤレスネットワーク接続の設定を行い、ネットワークやルータに適したセキュリティオプションを選択することができます(27 ページの“ワイヤレス設定を通してセキュリティを設定する”を参照)。

有線ネットワークと異なり、ワイヤレスなデータ通信は壁を越えて互換性のあるアダプタを持つ全ての人に受信されることとなります。このため、ワイヤレス装置にはセキュリティ機能が必須アイテムとなっています。このワイヤレスルータは極めて安全性の高いセキュリティオプションを提供することができます。詳細はリソース CD のリンクか

らユーザーマニュアルをご覧になるか、またはルータのメインメニューから [ドキュメント] リンクをクリックしてください。



室内では、数十メートル～数百メートルの範囲内でワイヤレスネットワークを利用することができます。この許容距離は、自分たちのネットワーク外の部外者が簡単にネットワークにアクセスできる範囲でもあります。

Wi-Fi Protected Setup (WPS) を使う

Wi-Fi Protected Setup (WPS)。ルータのプッシュボタン (4 ページの“リアパネル”を参照) を押すと、他の WPS 対応機器とともに、WPS セキュリティ機能が有効になります。ボタンを 5 秒以上長押しすると 2 分間ウィンドウが表示され、他の WPS 対応デバイスと接続します。



これら WiFi Protected Setup (WPS) プッシュボタンを使う前に、ご利用のデバイス (ノートパソコン、アダプタ、その他のデバイスなど) が WPS に対応しているかどうか確認してください。他の WPS 対応デバイスをお持ちでない場合、セキュリティが無効になったときに 2 分間ウィンドウを表示する必要はなく、また WPS のルータセキュリティを設定する必要もありません。

WPS を使って他のデバイスを接続するには、以下の手順で行います。

1. WiFi Protected Setup (WPS) 対応のデバイスのネットワークユーティリティを開き、ユーティリティの指示に従ってステップ 2 へ進みます。
2. ワイヤレスルータのボタンを 5 秒間長押しし、手を放します。プッシュボタンのランプが点滅を始めます。



ルータが WPS 対応モードにある場合 (最長 2 分間)、ワイヤレスセキュリティは無効となります。室内では、数十メートル～数百メートルの範囲内でワイヤレスネットワークを利用することができます。有線ネットワークのデータと異なり、ワイヤレスデータ通信は壁を越えることができ、互換性のあるアダプタをお持ちであれば信号を受信することができます。このため、多少離れている場所からもネットワークにアクセスすることができます。セキュリティに関する詳細は、リソース CD のリンク、またはルータのメインメニューのリンクから リファレンスマニュアルを参照してください。

3. プッシュボタンランプが点滅している間、2分間以内にルータに接続しようとしているデバイスの WPS を有効にしてください。以下のいずれかの状態になると、ランプの点滅が消えます。
 - ルータと、ルータに接続しようとしているデバイスの間で WPS が有効になったとき。
 - WPS 接続を確率するための2分間ウィンドウが時間切れになったとき。接続が確立したかどうかにかかわらず、ルータセキュリティと SSID (Service Set Identifier) は WPS 用に設定されます。

プッシュボタンは点灯したままとなり、WPS セキュリティが有効になったことを示します。
4. WPS を有効にした後、WPS 機能を持たないデバイスを接続しようとする場合、まずルータにログインし、セキュリティキーを取得する必要があります。その他の詳細は、“[ワイヤレス設定を通してセキュリティを設定する](#)” および *リソース CD* の *リファレンスマニュアル* をご覧ください。
5. WPS を無効にしたい場合は、ルータを工場出荷時の初期設定にリセットする必要があります。初期設定へのリセット方法は [42 ページの“既定のユーザー名とパスワードのリセット”](#) を参照してください。

ワイヤレス設定を通してセキュリティを設定する

ワイヤレス接続を設定し、ワイヤレスセキュリティを有効にする

1. ウェブサイト <http://www.routerlogin.net> から既定のユーザー名 **admin** とパスワード **password** を使ってルータにログインします。(ユーザー名とパスワードを変更した場合は、新しいものを入力します)。
2. メインメニューの [セットアップ] で [ワイヤレス設定] を選択します。[ワイヤレス設定] 画面が表示され、このルータの既定のワイヤレスネットワーク設定が表示されます。(ワイヤレス設定の変更については、ヘルプ画面またはオンラインユーザーマニュアルを参照してください)。



すべてのワイヤレスアダプタの SSID (Service Set Identifier)、つまりデバイスのワイヤレスネットワーク名は、ルータで設定された SSID と一致する必要があります。SSID が一致しない場合、ワイヤレス接続は確立されません。

3. **セキュリティオプション**を選択します。NETGEAR は、ワイヤレスネットワークでセキュリティ設定を行うことを強く推奨します。必要に応じたセキュリティ機能の設定について不明な点がある場合は、ユーザーマニュアルまたはルータのヘルプ画面の指示に従ってください。
4. **[適用]** をクリックして設定を保存します。



ワイヤレスコンピュータからルータを設定しており、ルータの SSID、チャンネル、またはセキュリティ設定を変更する場合、**[適用]** をクリックすると同時にデバイスの接続が中断されます。コンピュータのワイヤレス設定をルータの新しい設定に合わせて変更する必要があります。

ワイヤレスコンピュータを設定する

ルータの設定が完了したら、次にワイヤレスコンピュータをルータと同じように設定します。ワイヤレスコンピュータをルータと併用するには、各ワイヤレスコンピュータの設定が、ワイヤレスルータの設定と完全に一致しなければなりません。

コンピュータをワイヤレス接続用に設定する

1. 各コンピュータのワイヤレスアダプタをプログラムし、ルータと同じワイヤレスネットワーク名 (SSID) を持つよう設定してください。
2. 各ワイヤレスコンピュータのワイヤレスアダプタが、選択されたモードとセキュリティオプションに対応しているかどうか確認してください。(不明点がある場合は、オンラインユーザーマニュアルを参照するか、または [25 ページ](#) の “**ワイヤレス設定とセキュリティオプションの設定**” で選択した設定を確認してください)。



高速ワイヤレスルータの性能を最大限に活用するため、コンピュータのワイヤレスアダプタカードがルータと同じ技術に対応していることをご確認ください(詳しくはオンラインユーザーマニュアルを参照)。

3. 各ワイヤレスデバイスのセキュリティ設定がルータのセキュリティ設定と一致しているかどうか確認してください。例えば、パスワードを必要とするセキュリティオプションが選択されている場合、各ワイヤレスコンピュータでも同じパスワードを使用する必要があります。

4. 各ワイヤレスコンピュータでワイヤレスリンクが確立されており、ルータから DHCP により IP アドレスが取得できることを確認してください。



Windows PC については、[コントロールパネル]で[ネットワーク接続]を選択します。[ワイヤレス接続のプロパティ]をチェックし、TCP/IP のプロパティが “IP アドレスを自動的に取得する” と設定されていることを確認してください。

トラブルシューティング

インターネット接続に問題がある場合は、基本設定のチェックリストを使い、ルートが正しく接続され、設定されているかどうか確認してください。基本設定が正しい場合は、以下から問題点を探してください。

基本設定のチェックリスト

以下はルータを初めて設定する際に最もよく見られる問題点です。チェックリストをよくご覧になり、解決策にしたがってください。

- ネットワークは必ず次の手順で起動してください。
 1. モデムの電源を切り、コンセントから外します。次にワイヤレスルータとコンピュータの電源を切ります。
 2. モデムの電源を入れ、2分間待ちます。
 3. ワイヤレスルータの電源を入れ、1分間待ちます。
 4. コンピュータの電源を入れます。
- イーサネットケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。
 - モデムからのイーサネットケーブルがしっかりと接続され、モデムとワイヤレスルータの電源が入っていると、ワイヤレスルータのインターネットステータスランプが点灯しますワイヤレスルータ (16 ページの “ワイヤレスルータの接続” を参照)。
 - コンピュータがイーサネットケーブルでワイヤレスルータにしっかりと接続され、電源が入っていると、ワイヤレスルータ LAN ポートのステータスランプが点灯します。ワイヤレスルータ背面のラベルは各 LAN ポートの番号を示しています (4 ページの “ルータラベル” を参照)。
- コンピュータのネットワーク設定が正しいことを確認してください。
 - コンピュータと接続された LAN は、DHCP を使って同じ IP アドレスを自動的に取得するよう設定されている必要があります。詳しくは 43 ページの “関連ドキュメント” を参照してください。

- 一部のケーブルモデムサービスでは、ご利用のコンピュータの MAC アドレスを使ってアカウント登録を行うよう限定している場合があります。この場合、基本設定メニューのルータ MAC アドレス部分で [このコンピュータの MAC アドレスを使用する] を選択し、[適用] をクリックして設定を保存してください。正しい順序でネットワークを再起動してください。
- ルータのステータスランプをチェックし、ルータが正しく動作しているかどうか確認します。ルータの電源を入れた後、2 分以内に電源ランプが緑色に点灯しない場合、[42 ページの“既定のユーザー名とパスワードのリセット”](#)の指示に基づき、ルータを再起動してください。

ルータの基本機能の確認

ルータの電源を入れた後、以下の動作が順に起こるかどうか確認してください。

1. 初めて電源を入れたときに、電源ランプが点灯しているかどうかを確認します([3 ページの“前面”](#)の図を参照)。
2. 電源ランプが数秒間黄色に点灯し、セルフテストが実行されていることを確認します。
3. 約 20 秒後に以下を確認してください。
 - a. 電源ランプが緑色に変化しましたか？
 - b. 接続済みのローカルポートについて、LAN ポートランプが点灯していますか？
ポートのランプが点灯したら、接続デバイスへのリンクが確立されたことを意味します。LAN ポートが 100 Mbps デバイスに接続されている場合、ポートのランプが緑色に点灯しているかどうかを確認してください。ポートが 10 Mbps の場合、ランプは黄色に点灯します。
 - c. インターネットポートが接続されており、ランプが点灯していますか？
4. WPS セキュリティを有効にした場合、プッシュボタンの点滅が消え、緑色に変わったことを確認してください(またはプッシュボタンはオフとなります)。

正しく作動していないと思われる場合は、以下のリストを確認してください。

- **電源ランプが点灯しない。**電源やその他のランプが点灯しない場合([16 ページの“ワイヤレスルータの接続”](#)を参照)、以下を点検してください。
 - 電源コードがルータに正しく接続されており、また電源アダプタがしっかりとコンセントに接続されているかどうかを確認してください。

– 本製品専用の NETGEAR 電源アダプタをご利用かどうか確認してください。

エラーが持続する場合は、ハードウェアに問題がある可能性があります。テクニカルサポートへご連絡ください。

- **電源ランプが黄色のまま変化しない。** ルータの電源を入れると、電源ランプが 20 秒間ほど点灯し、緑色に変わります。ランプが緑色に変わらない場合、ルータに問題があると考えられます。

ルータの電源を入れた後、電源ランプが 1 分以上黄色のまま変化しない場合、以下を試してください。

- a. 電源を切ってから再度入れてみて、ルータが正常に戻るかどうか確認してください。
- b. ルータの設定を工場出荷時の初期設定にリセットしてください。リセットすると、ルータの IP アドレスは 192.168.1.1 となります。方法については、[42 ページの“既定のユーザー名とパスワードのリセット”](#)をご覧ください。

エラーが持続する場合は、ハードウェアに問題がある可能性があります。テクニカルサポートへご連絡ください。

- **インターネットランプが黄色のまま変化しない。** ルータの電源を入れると、インターネットランプが 20 秒間ほど点灯し、緑色に変わります。ランプが緑色に変わらない場合、ルータに問題があると考えられます。

ルータの電源を入れた後、インターネットランプが 1 分以上黄色のまま変化しない場合、以下を試してください。

- a. インターネット接続が確立されていません。インターネット設定が正しいかどうか確認してください。
- b. ルータの設定を工場出荷時の初期設定にリセットしてください。リセットすると、ルータの IP アドレスは 192.168.1.1 となります。方法については、[42 ページの“既定のユーザー名とパスワードのリセット”](#)をご覧ください。
- c. 電源を切ってから再度入れてみて、ルータが正常に戻るかどうか確認してください。

- **インターネットまたは LAN ポートのランプが点灯しない。** イーサネット接続が確立しても LAN ランプまたはインターネットランプが点灯しない場合は、以下を点検してください。

- a. イーサネットケーブルがルータ側とコンピュータ側でしっかりと接続されているかどうかを確認してください。
- b. 接続されたコンピュータの電源が入っているかどうかを確認してください。

- c. ワイヤレスルータ付属のケーブルに類似したイーサネットケーブルを使用していることを確認してください。

16 ページの“[ワイヤレスルータの接続](#)”を参照してください。

- **WPS プッシュボタンが黄色に点滅する。** WPS セキュリティを設定した後、プッシュボタンが黄色に点滅する場合は、以下を点検してください。
 - a. プッシュボタンを使い、ルータ内蔵の登録機能を使用していないことを確認してください ([26 ページの“Wi-Fi Protected Setup \(WPS\) を使う”](#)を参照)。
 - b. ルータに接続している WPS 対応デバイスの PIN 認証に成功していることを確認してください。
 - c. WPS 機能を無効にした後 (ルータにログインし、無効にした場合)、プッシュボタンを押していないかどうか確認してください。
 - d. ルータが一時的な AP セットアップのロック状態にないかどうか確認してください (ワイヤレスリピーター機能を使用している場合のみ)。

WPS セキュリティと詳細機能については、オンラインリファレンスマニュアルを参照してください。

ログイン問題のトラブルシューティング

ワイヤレスルータにログインできない場合は、以下を点検してください。

- イーサネットに接続されたコンピュータを使用している場合は、[32 ページの“ルータの基本機能の確認”](#)で説明されている通り、コンピュータとルータ間のイーサネット接続を確認してください。
- 正しいログイン情報を使用していることを確認してください。工場出荷時の初期設定におけるログイン名は **admin**、パスワードは **password** です。キーボード入力の際は **Caps Lock** がオフになっていることも確認してください。

- コンピュータの IP アドレスがルータと同じサブネットにあることを確認してください。推奨されるアドレススキームを使用している場合、コンピュータのアドレスは 192.168.1.2 ~ 192.168.1.254 の間となります。の間となります。コンピュータの設定方法については、コンピュータの説明書、または [43 ページの“関連ドキュメント”](#) の“[ネットワークアクセスのためにコンピュータを準備する](#)”を参照してください。



コンピュータが DHCP サーバに接続できない場合、一部のオペレーティング・システムは 169.254.x.x の範囲内で IP アドレスを割り当てることがあります。お使いのコンピュータの IP アドレスがこの範囲内にある場合、コンピュータとルータの間に良好な接続が確立されていることを確認し、コンピュータを再起動してください。

- ルータの IP アドレスが変更され、現在の IP アドレスが分からない場合は、ルータの設定を工場出荷時の初期設定にリセットしてください。この操作を行うと、ルータの IP アドレスは 192.168.1.1 となります ([42 ページの“既定のユーザー名とパスワードのリセット”](#)を参照)。
- ブラウザが Java、JavaScript、ActiveX に対応していることを確認してください。Internet Explorer をお使いの場合は、[更新]をクリックして Java アプレットを読み込んでください。ブラウザを終了してから再度立ち上げてください。

インターネットサービス接続のチェック

ルータがインターネットにアクセスできない場合、インターネット接続を点検し、ワイヤレスルータを点検します。

- **インターネット接続。** ケーブルまたは DSL モデムのステータスランプが、接続が確立されているかどうかを示します。モデム接続の確認方法については、モデムの説明書を参照するか、またはプロバイダにお問い合わせください。
- **ワイヤレスルータインターネットランプが緑に点灯、または点滅している。** インターネットランプが緑に点灯または点滅している場合、インターネット接続が良好であり、配線が正しいことを意味します。
- **ワイヤレスルータインターネットランプがつかない。** インターネットランプが消えている場合、ケーブルと DSL モデムの間でイーサネットケーブルがしっかりと接続され、モデムとワイヤレスルータの電源が入っていることを確認してください。

インターネット IP アドレスの取得

お使いのワイヤレスルータがインターネットにアクセスできず、インターネットランプが黄色く点灯している場合、ワイヤレスルータがサービスプロバイダからインターネット IP アドレスを取得できているかどうかを検証する必要があります。静的 IP アドレスがある場合を除き、ワイヤレスルータはサービスプロバイダから自動的に IP アドレスを要求します。

ブラウザインターフェースからインターネット IP アドレスを確認する

1. ワイヤレスルータにログインします。
2. **[メンテナンス]** 見出しの下の **[ルータステータス]** リンクを選択し、インターネットポートに対する IP アドレスが表示されているかどうかを確認します。0.0.0.0 と表示された場合、ワイヤレスルータはプロバイダから IP アドレスを取得していないこととなります。

ルータがプロバイダから IP を取得できない場合、以下のいずれかの問題が考えられます。

- プロバイダがログインを必要としている可能性があります。プロバイダに、PPP over Ethernet (PPPoE) ログインが必要かどうか、問い合わせてください。
- サービス名、ユーザ名、またはパスワードが間違っている可能性があります。37 ページの **“PPPoE のトラブルシューティング”** を参照してください。
- サービスプロバイダがコンピュータのホスト名をチェックしている可能性があります。**[基本設定]** 画面でワイヤレスルータにプロバイダアカウントのコンピュータホスト名を割り当ててください。
- ご利用のサービスプロバイダがイーサネット MAC アドレスのみの接続を許可しており、コンピュータの MAC アドレスについてチェックする場合があります。この場合、以下を実行してください。
 - プロバイダに対し、あなたが新しいネットワークデバイスを購入し、ワイヤレスルータの MAC アドレスを使用したいことを伝えてください。
 - ルータがコンピュータの MAC アドレスを真似るよう構成してください。ルータ MAC アドレス部分の **[基本設定]** 画面で、**[このコンピュータの MAC アドレスを使う]** を選択し、**[適用]** をクリックします。正しい順序でネットワークを再起動してください (31 ページの **“基本設定のチェックリスト”** を参照)。

PPPoE のトラブルシューティング

PPPoE を使用している場合、インターネット接続のトラブルシューティングをお試しください。

PPPoE 接続のトラブルシューティング：

1. ワイヤレスルータにログインします。
2. メインメニューの [メンテナンス] で、[ルータステータス] を選択します。
3. [接続ステータス] をクリックします。すべてのステップで [OK] が確認された場合、PPPoE 接続は有効であることを意味します。

いずれかのステップで [Failed] と表示された場合、**接続をクリックし、再接続を試みてください**。ワイヤレスルータは引き続き接続を試みます。

数分経過しても接続できない場合、間違ったサービス名、ユーザ名、パスワードを使用している可能性があります。または、プロバイダによる問題の可能性も考えられます。



手動で接続した場合を除き、ワイヤレスルータはデータがネットワークに転送されるまで PPPoE を使用して認証を行いません。

インターネットブラウザのトラブルシューティング

ワイヤレスルータが IP アドレスを取得しても、コンピュータがインターネットのウェブページを読み込むことができない場合、下記を点検してください。

- **お使いのコンピュータは DNS サーバーアドレスを認識できない可能性があります。** DNS サーバーは、インターネット名 (www アドレスなど) を数字の IP アドレスに変換するためのインターネット上のホストです。通常、ご利用のプロバイダが DNS サーバーのアドレスを 1 つか 2 つ提供しています。ワイヤレスルータ設定中に DNS アドレスを入力した場合は、コンピュータを再起動してください。また、コンピュータの説明書などの説明に従い、PC の DNS アドレスを手動で設定することもできます。
- **お使いのコンピュータでは、デフォルトゲートウェイとしてワイヤレスルータが設定されていない可能性があります。** コンピュータを再起動し、ワイヤレスルータアドレス (192.168.1.1) がデフォルトゲートウェイアドレスとしてコンピュータに表示されているかどうかを確認します。

Ping ユーティリティを使ったトラブルシューティング

ほとんどのコンピュータとルータには、*ping* と呼ばれる診断ユーティリティがあり、目的のデバイスに要求を送信することができます。これを受け、相手のデバイスが回答します。Ping ユーティリティは、ネットワークの問題解決を促します。

お使いのコンピュータからルータまでのパスをテストする

ワイヤレスルータを ping することで、コンピュータからルータへの LAN パスが正しく設定されているかを点検することができます。

Windows PC からワイヤレスルータを ping する

1. Windows のタスクバーで、[スタート] をクリックし、[ファイル名を指定して実行] をクリックします。
2. この欄で ping と入力した後、ルータのアドレスを入力します。以下の例の通りです。
`ping www.routerlogin.net`
3. [OK] をクリックしてください。以下のいずれかのメッセージが表示されます。

Pinging www.routerlogin.net with 32 bytes of data

このパスが有効な場合は、以下のようなメッセージが表示されます。

Reply from www.routerlogin.net:bytes=32 time=NN ms TTL=xxx

このパスが無効な場合は、以下のようなメッセージが表示されます。

Request timed out

パスが正しく機能していない場合は、以下のいずれかの問題が考えられます。

- 物理接続に問題があります。
 - LAN ポートランプが点灯していることを確認してください。ランプが消えている場合、[31 ページの“基本設定のチェックリスト”](#)の指示に従ってください。
 - 対応するランプがコンピュータのネットワークインターフェースカード上にあることを確認します。
- ネットワーク設定が間違っています。
 - イーサネットカードのドライバソフトウェアと TCP/IP ソフトウェアがいずれもインストールされ、PC が設定されているかどうかを確認してください。
 - ルータとコンピュータの IP アドレスが正しく、いずれも同じサブネットにあることを確認します (例: 192.168.1.x/255.255.255.0)。

コンピュータからインターネットへのパスをテストする

コンピュータとワイヤレスルータとの間のパスが正しく作動していることが確認されたら、PCからインターネットへのパスをテストしましょう。

Windows PC を使ってパスを ping する

1. Windows のタスクバーで、[スタート] をクリックし、[ファイル名を指定して実行] をクリックします。
2. この欄で、cmd と入力します。コマンド画面が表示されます。
3. >プロンプトで、以下を入力します。

```
ping -n 10 <IP address>
```

<IP address> はプロバイダの DNS サーバなどのリモートデバイス IP アドレスです。

4. **Enter** を押します。

パスが正しく機能していれば、前セクションのような返答が表示されます。返答を受信できない場合：

- お使いの PC がデフォルトゲートウェイとしてリストされているルータの IP アドレスを設定しているかどうかチェックしてください。PC の IP 設定が DHCP により割り当てられている場合、この情報は PC のネットワークコントロールパネルでは見ることができません。ルータの IP アドレスが TCP/IP のデフォルトゲートウェイとして表示されているかどうか確認してください。
- PC のネットワークアドレス (ネットマスクにより指定された IP アドレス部分) がリモートデバイスのネットワークアドレスと異なるかどうかを確認してください。
- ご利用のプロバイダが PC にホスト名を割り当てている場合、基本設定メニューのアカウント名部分にホスト名を入力してください。

初期設定

初期設定

本機背面のリセットボタンを押すと、すべての設定を工場出荷時の初期設定に戻します。この操作はハードリセットと呼ばれます。

- ハードリセットを行うには、リセットボタンを約 5 秒間長押しします (電源ステータスランプが速く点滅するまで押します)。本機は次の表 1 に記載された工場出荷時の初期設定に戻ります。
- リストアボタンを短く押すと、本機はリセットされず、再起動します。

表 1. ホームルータの初期設定

特徴	初期設定
Smart Wizard	無効
ルータログイン	
ルータログイン URL	http://www.routerlogin.net http://www.routerlogin.com または http://192.168.1.1
ログイン名 (大文字と小文字を区別)	admin
パスワード (大文字と小文字を区別)	password
インターネット接続	
WAN MAC アドレス	既定のハードウェアアドレス (ラベルに記載)
MTU サイズ	1500
ローカルネットワーク	
ルータ LAN IP アドレス (ゲートウェイ IP アドレス)	192.168.1.1
IP サブネットマスク	255.255.255.0
DHCP サーバー	有効
タイムゾーン	GMT
夏時間のためタイムゾーン調整	無効

表 1. ホームルータの初期設定 (続く)

特徴		初期設定
ファイアウォール		
	着信 (インターネットからの通信)	無効 (http ポート 80 を除くすべての未承諾要求を禁止)
	送信 (インターネットへの通信)	有効 (すべて)
ワイヤレス		
	ワイヤレス通信	有効
	SSID 名	NETGEAR
	セキュリティ	無効
	ブロードキャスト SSID	有効
	伝送速度	自動 ^a
	国 / 地域	アメリカ (北アメリカのみ。その他は国や地域により異なります。)
	RF チャンネル	リージョンが選択されるまでは 6
	動作モード	145 Mbps
	データ速度	最高
	出力	完全

a. IEEE 標準 802.11 規格からの最大ワイヤレス信号速度。実際の処理能力は異なります。ネットワーク状況、環境要素 (ネットワークトラフィック、建材、構造、ネットワークオーバーヘッドなど) が実際のデータ処理速度に影響します。

既定のユーザー名とパスワードのリセット

工場出荷時の初期設定にリセットすると、ルータのユーザー名を **admin** に戻し、パスワードを **password** に戻し、そして IP アドレスを **192.168.1.1** に戻します。この操作を行うと、現在の設定は消去され、工場出荷時の初期設定に戻ります。

工場出荷時の初期設定にリセットするには、次の手順で行います。

1. ペンやペーパークリップなど鋭利なものを使い、ルータ背面にあるリセットボタンを約 20 秒間長押しします (4 ページの “リアパネル” を参照)。
2. リセットボタンから手を放し、ルータが再起動するまでお待ちください。
工場出荷時の初期設定に戻りますので、初期設定を使ってウェブブラウザからルータにアクセスできます。

関連ドキュメント

この章では、NETGEAR 製品で使われている技術をより詳しく理解するための参照ドキュメントへのリンクが提供されています。

ドキュメント	リンク
インターネット・ネットワークと TCP/IP 割り当て:	http://documentation.netgear.com/reference/enu/tcpip/index.htm
ネットワークアクセスのためにコンピュータを準備する	http://documentation.netgear.com/reference/enu/wsdhcp/index.htm
用語集	http://documentation.netgear.com/reference/enu/glossary/index.htm

登録と認証

製品登録、サポート、ドキュメント

お買い上げの製品を、<http://www.netgear.jp/registry/> から登録してください。電話によるサポートサービスをご利用になる前に、製品登録を行う必要があります。製品アップデートやウェブサポートは、<http://kbserver.netgear.com/> から常にご利用いただけます。

セットアップに関する説明書は、CD、サポートウェブサイト、ドキュメントウェブサイトから取得できます。ワイヤレスルータがインターネットに接続されている場合は、ナレッジベースリンクをクリックしてサポート情報をご覧になるか、または[ドキュメント]リンクをクリックしてこのワイヤレスルータのユーザーマニュアルを参照してください。

IEEE 標準 802.11 規格からの最大ワイヤレス信号速度。

実際の処理能力は様々です。ネットワーク状況、環境要素（ネットワークトラフィック量、建材、構造、ネットワークオーバーヘッドなど）が実際のデータ処理速度に影響します。

連邦通信委員会 (FCC) 規制：ラジオ周波数に関するお知らせ

この製品は既に FCC 規定第 15 項の Class B デジタル装置としてのテストを受け、その条件を満たしています。これらの条件は、本製品を住宅地域において操作する上で、有害な妨害から保護されるよう定められています。本製品はラジオ周波数を発生、使用、放射しますので、マニュアル通り正しくインストールされていない場合は有害なラジオ妨害を招く恐れがあります。但し、正しくインストールが行われている場合においても、絶対に妨害を招かないという保障はありません。本製品がラジオもしくはテレビ受信に対して妨害を招き、電源を入れたり切ったりすることで、本製品が原因であることが明らかである場合は、以下の要領で妨害の修正を試みて下さい。

- 受信アンテナを再編成するか、位置を移動する。
- 本製品と受信機の間隔を広げる。
- 本製品を、受信機が接続されているものとは別の電源に接続し直す。
- ラジオ/テレビの専門技師に問い合わせる。

